

## 感染症情報 5月20日～26日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,362例(堺市	76例)
②手足口病	772例(堺市	95例)
③溶連菌感染症	596例(堺市	64例)
④伝染性紅斑	150例(堺市	17例)
⑤咽頭結膜熱	149例(堺市	21例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 206例(堺市 18例)

感染症報告数は前週比14.2%増の3,417件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下手足口病、溶連菌感染症、伝染性紅斑、咽頭結膜熱であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比して3%増、堺市は33%増であった。手足口病が府下で54%増、堺市で61%増であった。堺市では定点当たり5.00となり、警報開始基準値5以上となった。溶連菌感染症は府下で2%減、堺市で8%増となった。伝染性紅斑は府下で11%減、堺市で11例→17例であった。咽頭結膜熱は府下で43%増、堺市では9例→21例であった。

インフルエンザは府下で前週215例→今回206例で減ったが、堺市では前週14例→今回18例と増えた。

麻疹が府下で1例あり(堺市はなし)。麻疹の年始からの府内累計報告数は142例となった。

風疹の報告はなかった。昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対する『風しん第5期定期接種』が開始されている。昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生の男性には、そろそろクーポン券が送付される予定であるが、堺市在住の対象者が堺市内の契約医療機関を受診するにはクーポン券は不要である。